

～重度障がいをもつ児と保護者の交流会～ たんぽぽ

“たんぽぽ”とは・・・ 西部療育センターの訪問支援を受けている未就学児とその保護者を対象にした交流会です。

重症心身障がいを持ち、人工呼吸器などの医療管理を必要とする児は外出が難しいため、集団保育を経験できない児が少なくありません。また保護者も外出機会が少なく、同じような子育ての悩みを持った保護者と接する機会が少ないのが現状です。そこで保護者同士の交流と外出機会の一つとして、交流会を開催しました。

お子さんには看護師も同席した保育、保護者の方には情報交換会や学習会などを行いました。

対 象：西部療育センターにおいて訪問での支援を行っている未就学児とその保護者

対 象 児：5名

時 期：7月、3月

(感染症にかかりにくい時期)

時 間：10時～12時(2時間のうち自由参加)

参加職種：保育士、看護師、訓練士、相談支援専門員

内 容：保育、情報交換交流会、学習会



医師による診察も行ってもらいました♪



時間を気にせず、気楽に来ることができました。



楽しそうに療育に参加しているな～♪♪



来所できる時間から自由に参加してもらうことで、保護者の方は参加しやすかったようです。医師や看護師、相談支援専門員など、たくさんの職種の関わりが、保護者の安心感につながりました。

また、災害時やお出かけをする練習としてもよい機会になると思います。今後も、楽しい時間となるように、頻度を増やして開催していきたいです。

